



『ベル・エポックー美しき時代 パリに集った芸術家たち
ワイズマン&マイケル コレクションを中心に』 展覧会公式図録表紙

ベル・エポック 美しき時代

パリに集った
芸術家たち

ワイズマン&マイケル コレクションを中心に

ミュージアムコンサート

2025年5月11日（日）14時開演（13時30分開場）

岡山県立美術館ホール（定員・先着200名）

展覧会の観覧券で入場可（半券可）

（お問い合わせ）岡山県立美術館 TEL 086-225-4800

- ・前売り一般1200円
- ・当日一般1500円
- ・当日65歳以上1300円
- ・当日大学生1000円
- ・高校生以下無料



岡山県立美術館ホームページ

【プログラム】

- ♪サティ 「ジュ・トゥ・ヴー」
- ♪ドビュッシー/フォーレ 「月の光」
- ♪シルヴェストリーニ 「オーボエのための練習曲」より
- ♪デュボア 「組曲形式による性格的小品」より
- ♪プーランク 「ピアノ、オーボエ、ファゴットのためのトリオ」他

【出演】

- 上月 真子 (Masako KOZUKI) オーボエ
- 西室 伸也 (Shinya NISHIMURO) サクソフォン & ファゴット
- 仲村渠 悠子 (Yuko NAKANDAKARI) ピアノ

ベル・エポック 美しき時代

パリに集った
芸術家たち

ワイズマン&マイケル コレクションを中心に

19世紀末から20世紀初め、フランスでは芸術における自由度が大幅に増し、美術、文学、音楽ともに革新性と創造性が開花しました。美しく華やかで情報量の多い「ベル・エポック」、当時のパリ・モンマルトルで「カフェ・コンセール（今でいうライブ演奏付きバーのような場所）」のピアニストとして活動したドビュッシー、同じくカフェ・コンセールで毎夜ピアノを弾き、その言動や書き残した言葉があまりにも風変わりだったために変わり者として知られたサティ、そして印象派から現代につながる幅広い要素と色彩豊かな作風を持つプーランクまで、美しき時代のパリとそこで愛された音楽を、映像・お話とともにお楽しみください。

出演者プロフィール



上月真子 (Masako KOZUKI) 岡山県倉敷市出身。
愛知県立芸術大学音楽学部管打楽器科を経て渡独。国立デトモルト音楽大学にてディプロム、オーケストラコース、室内楽コース修了。ベルギッシュ交響楽団オーボエ奏者、デトモルト室内オーケストラ首席オーボエ奏者、デトモルト音楽大学非常勤講師などを経て2019年に帰国。倉敷にアトリエを開き、オーボエリード製作販売も行っている。備中ダブルリード所属。これまでにオーボエを吉田容子、有道惇、小畑善昭、ゲルノット・シュマルフス、ヨーゼフ・キシユの各氏に師事。



西室伸也 (Shinya NISHIMURO) 愛知県稲沢市出身。
くらしき作陽大学卒業。在学中特待生オーディションに合格。日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。日演連推薦演奏会にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。ヤマハ音楽振興会講師。くらしき作陽大学演奏助手。
アンサンブルGEERA、just4you、珍獣会、備中ダブルリード、都カルテット所属。



仲村渠 悠子 (Yuko NAKANDAKARI) 沖縄県出身。
幼少期よりピアノをはじめ、即興演奏を得意とする。桐朋学園女子高等学校音楽部ピアノ科、同大学、同研究科を最高点にて修了。デトモルト音楽大学首席卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。2009年よりデトモルト音楽大学講師（コレパティトア）として勤務後、2015年沖縄帰国。2022年より毎年ショパン全曲演奏会を開催しており、2025年4月に第4回目を迎える。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本歌唱芸術協会事務局長。これまで、日比谷友妃子、高良芳枝、ミハイル・ボスクレセンスキー、ジャン・エフラム・バブゼ、アナトール・ウゴルスキーの各氏に師事。

交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から 徒歩 | 15分
路面電車 | 岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車徒歩3分
岡電バス | 1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ
宇野バス | 11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩3分



岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL | 086-225-4800 FAX | 086-224-0648
Email | kenbi@pref.okayama.lg.jp
<https://okayama-kenbi.info>

